

2014年7月13日

発行者:日本ろう者テニス協会

取材/編集:尾形スタッフ

- ドロー決定！ - 第2日

〈一日の流れ〉

6時～8時 朝食

8時～9時 ホテル周辺散策兼視察

9時50分 ホテル出発

11時～14時半 練習

15時 テニスコート出発、オフィシャルホテルへ。

18時～レセプションパーティー

19時～21時 TD会議

21時半 ホテル到着

22時～ ミーティング



チャタヌーガで迎える初めての朝。皆元気です。

大会会場である練習コートの開放が11時なので、それまでの間、皆でホテル周辺へスーパー、レストランなどの施設でどこに何があるか確認を兼ねて散策しました。

体がまだ時差に慣れていない状態で、蒸し暑く、前半は苦しい散策でしたが、次第に体が慣れてきたので、練習前に散策して正解だったようです。

タクシーで10時前にテニスコートに到着したものの、誰もいなく、コートの入り口も施錠されていました。待つこと1時間。その間にフランスやドイツ、イギリスの選手が集まってきて、選手たちの間でいよいよだという緊張感が漂いました。

11時練習スタート。うだるような蒸し暑さです。

体と気持ちがなかなか追いつきません。そこで、コーチから「応援してくれている皆に応えるよう練習しているか！？試合ではミスした時に『もう一度』は許されない！」と厳しい檄がとびました。

選手も気持ちを改め、苦しい中必死でボールを追います。

練習後は、オフィシャルホテルでレセプションパーティーとTD会議。

今大会のドローが決定しました！

リーグ戦の後、トーナメント戦です。

■男子 9か国

Aリーグ

オーストリア、ロシア、アルゼンチン

Bリーグ

ドイツ、アメリカ、イギリス

Cリーグ

フランス、台湾、日本

■女子 8か国

Aリーグ

ドイツ、イギリス、ロシア、アメリカ

Bリーグ

スペイン、台湾、日本、インド

明日、男子はフランス、女子は台湾と対戦します。

そこで選手・コーチの明日への意気込みのコメントを紹介します。

■男子

都丸直樹

明日は強敵フランス戦ですが、最後まで諦めない気持ちをもって試合に臨みます！

榛地英征

明日からドレセマエレ杯が始まります。初戦の相手はフランスで、ブルガリアデフリンピックメダリストのミカエル選手との試合が予想されます。メダリストとの試合はそう経験できるものではありませんので、世界のレベルを肌で感じながら、自分のテニスを最後まで貫き通します！

鈴木裕将

いよいよ明日からドレセマエレ杯です！強豪国相手に自分のテニスがどこまで通用するか試す時が来ました！メンバーと団結して、周りの雰囲気にのまれないように、一球一球に気持ちをこめてベストを尽くして頑張ります！

■女子

豊田恵子

今日は初めて現地で練習をしましたが、予想以上に蒸し暑くてコンディションを整えることで精一杯で、現地で練習する日がもっと欲しいと思いました。

明日から大会が始まります。女子チームの初戦は台湾になりました。台湾は昨年のデフリンピックでシングルス2位、ダブルス2位と実力は折り紙付きです。

たくさんの方々からのエールを胸に、自分がこれまでやってきたことを信じ、1球1球を大事に、思い切りコートを走り回ってきます！

龍野由佳

今日は大会に備えて練習してきました。

まず“周りの人がくれた応援に応えるように見えない”というお叱りを受け、何故そう見えないのか改めて考えて練習に挑みました。

また、後半になると練習試合をする際、インドの選手と少しではありますが試合をしました。

ここで学んだことは…①外国人は、ずる賢く、アピールが強い人も多いため、そのことを頭に入れつつ落ち着いてプレーをすること②自分にはパワーやスピードが比較的弱いため、相手の穴を探して狙いを定めること。

大会前日に外国人選手とプレーしてよかったです。そして、今日学んだことを明日に生かせるよう挑みたいです！

尾形滋子

今大会では、初めてベンチコーチを務めます。

今まで、色々な方々にベンチコーチの役割やノウハウについて教えていただき、練習してきました。明日の台湾戦、実力差はありますが、その中で選手が持っている力を最大限に出すプレーができるよう、そして今後への課題を日本の皆さんに持って帰れるよう頭を振り絞り、選手とともに戦います！

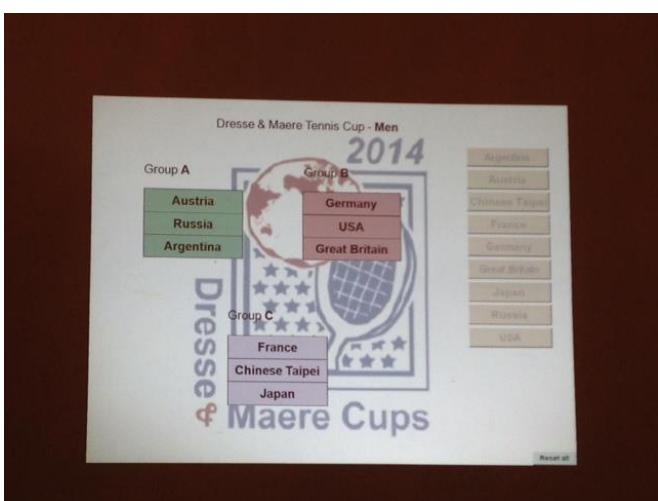
■コーチ

内藤公広

明日から大会が始まります。今までの自分をどのように越えていくことができるのか？ポイントはここにつきると思います。

残念ながら今日の練習では越える準備ができてませんでした。明日の試合ではメンタル、行動を研ぎ澄まして頑張ってほしいです！

ご声援よろしくお願ひします！



男子ドロー



女子ドロー